

謹賀新年

令和2年 年頭のごあいさつ



明けましておめでとうございます。

皆さまには、輝かしい新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。また、日頃から市政各般にわたり、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、30年余り続いた「平成」から「令和」に元号が変わるとい、歴史的な皇位の継承が行われた1年でありました。新時代の幕開けに、大きな期待と新たな気持ちでさまざまなことが執り行われた一方、全国各地で自然災害が多発し、特に9月から10月にかけて発生した台風や大雨では、本市も住宅被害、停電、倒木のほか、農作物や農業用施設等が甚大な被害を受けました。

今回の災害で新たに生じた課題の検証を行い、今後の災害に備えるとともに、自助・共助を基本とした地域防災力の向上を中心に実効性の高い施策に取り組み、市民の皆さまの安全確保と強靱なまちづくりに努めてまいります。

本年は、本市にとりまして、市制施行から15年を迎える節目の年に当たります。

このような中、新たなまちづく

りの指針として策定した「総合戦略」が、実行から5年が経過し、更新を迎えます。実行の責任主体は行政であります。「みんなが主役のまちづくり」の基本理念に基づき、計画の更新においても、市民、地域、行政等、あらゆる主体が積極的に議論にかかわる必要があります。複層的に計画の進捗や効果の検証を行い、成果に磨きをかける施策や事業が展開できるよう、改善を図ってまいります。

いよいよ8月には、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。本市では、昨年、モンゴル国ウエイトリフティングナショナルチームの第一次事前キャンプを招聘しました。本番までの期間も、ホストタウンとしての支援と、モンゴル国との交流伸展を図ってまいります。また、7月6日に、本市において聖火リレーが実施されます。霞ヶ浦などの地域資源を生かした特色あるリレーは、本市の魅力を生かすべく発信できる絶好の機会と捉えています。大会の開催を一過性のものとせず、大会後も継続的な地域づくりや生涯スポーツ社会の実現につなげ、次世代の希望とな

るレガシーの創出に取り組んでまいります。

少子高齢化や人口減少が依然として進行する中、今後も市民生活の向上が実感できる事業やサービスを提供していくためには、ゆるぎない財政基盤の確立が不可欠です。今後も行政改革を推進し、業務の改善を図るとともに、子育て支援や教育、公共交通網の充実、産業の振興・活性化、公共施設の再編・再配置など、時代や市民のニーズに合致した施策に取り組み、新たな価値や可能性の創造と持続可能なまちづくりを行ってまいります。

本年も市民の皆さまと共に、市の将来像である「笑顔で住み続けたいまち、行方」の実現にまい進してまいりますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。



持続可能なまちづくりに向けて

行方市長 鈴木 周也



笑顔で住み続けたいまち、行方

明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい令和2年の新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

また、本市の市政運営ならびに議会活動に対し、皆さまの温かいご支援、ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

市議会につきましては、昨年4月の任期満了に伴い改選され、令和という新たな時代を迎える節目の年に、新たな体制の下でスタートしたところです。新年を迎え、二元代表制の一翼として、地方自治体の意思決定機能と執行機関の監視機能を十分に果たし、その信託に応えていくべく、身の引き締まる思いです。

さて、昨年は、自然の脅威にさらされた年でもありました。令和元年台風第15号、第19号等により、広い範囲で河川が氾濫し、市内でも人的被害・建物被害を出したのは、記憶に新しいところです。

我が国を取り巻く環境は、景気は緩やかに回復が続く、個人消費は持ち直していると言われるておりますものの、まだまだ、

地方におきましては厳しい社会経済状況であり、緊迫した国際情勢、地球温暖化による深刻な環境問題など多くの課題を抱えております。

このような中で新たな年を迎え、市民の皆さまの声を真摯に受け止め「笑顔で住み続けたいまち、行方」の実現に向けて、心新たに取り組んでいく所存でございます。これまで、行方市議会としましては、市民の皆さまにわかりやすい議会、開かれた議会を目指し、議会改革に取り組んでまいりました。議会だよりや防災対応型エリア放送による議会ライブ中継、インターネットによる録画中継により、議会をよりご理解いただくための情報発信や、市民の皆さまの意見を聞きすることに努めています。

また、人口減少・超高齢社会の時代に突入し、財政収入の減少など厳しい財政状況が想定される中、施策の優先順位を明らかにし、真に必要な施策を精査しなければなりません。

今年度は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、茨城カシマスタ

ジアムも競技会場の一つとなっております。また、当市においてもモンゴル国ウエイトリフティングナショナルチームのホストタウンとなっております。国際色豊かな1年が予想されます。

今後も、市議会の活動が市民の皆さまにとってわかりやすく、ご理解いただけるよう、国際色豊かな1年にふさわしい開かれた議会を目指し、議会の機能強化と充実、運営の改善等を引き続き推進してまいりますので、市民の皆さまの一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして幸多い年となりますことを心から祈念し、新年のごあいさつといたします。



身近な開かれた市議会を目指して

行方市議会議長 岡田 晴雄